

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年2月13日 (2014.2.13)

【公表番号】特表2013-516177(P2013-516177A)

【公表日】平成25年5月13日 (2013.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-023

【出願番号】特願2012-547299(P2012-547299)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/34 A

C 1 2 Q 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料中の微生物の検出又は計数のための物品であって、

上方主表面及び下方主表面を有する自立型水不透過性基材を含むベース部材であって、
前記上方主表面は冷水可溶性ゲル化剤を含む第 1 乾燥コーティングを含む、ベース部材と、

微多孔性膜と、

検出試薬を含む第 2 乾燥コーティングを含むカバーシートと、

前記微多孔性膜と前記カバーシートとの間に流体バリアを形成するように構成されたバリア層と、を含み、

前記微多孔性膜が、前記ベース部材と前記バリア層との間に配置される、物品。

【請求項 2】

試料中の微生物の有無を検出する方法であって、

微生物含有の疑いがある液体試料と、

検出物品であって、

冷水可溶性ゲル化剤を含む第 1 乾燥コーティングを含むベース部材と、

微多孔性膜と、

検出試薬を含む第 2 乾燥コーティングを含むカバーシートと、

前記微多孔性膜と前記カバーシートとの間に流体バリアを形成するバリア層と、を含み、

前記微多孔性膜が、前記ベース部材と前記バリア層との間に配置される、検出物品と、
を準備する工程と、

所定の量の前記試料を前記第 1 乾燥コーティングと接触させる工程と、

前記微多孔性膜を前記試料と接触させる工程と、

前記物品を第 1 の時間培養する工程と、

前記バリア層を再配置し、前記カバーシートと前記微多孔性膜との間の接触をもたらす工程と、

前記物品を第 2 の時間培養する工程と、

微生物増殖の有無の兆候を観察する工程と、を含む、方法。